

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証(令和4年度実施計画分)令和5年度への繰越含む

計画年度	No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者, 対象施設等)	交付金 対象 決算額 (単位:千 円)	事業 始期	事業 終期	成果	評価	今後の対応
R4	1	コネクテッドカー導入事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別や三密を避けて分散化できる行政サービスを行うため、動く市役所として健康相談、住民税の申告受付等の様々な行政サービス地域に出向いて提供することにより感染拡大防止を図る。 ②コネクティッドカー購入費、行政システム環境整備及び設定一式 ③曾於市	10,799	R4.4.4	R5.3.16	車両導入が年度末となったため、実稼働はなかった。	令和5年度からの稼働に向けて関係担当課と協議を行った。	個別や三密を避けて分散化できる行政サービスを地域へ出向いて提供していく。
R4	2	農業者応援給付金事業	①新型コロナウイルス感染症蔓延による農畜産物の価格低迷により、影響を受けている販売農家を支援し、生産意欲向上及び社会情勢に応じた生産販売を図る。 ②対象者へ一律50,000円給付 ③令和3年中に農業収入があり、引き続き農業経営を営む販売農家で、次の各号のいずれかに該当する者とする。 (1) 令和3年中の総収入額のうち農業収入額が主である個人経営の専業農家 (2) 令和3年中の農業収入額がその世帯の総収入額の2分の1を上回る兼業農家 (3) 令和3年中の農業収入額が総収入額の2分の1を上回る法人	35,950	R4.6.15	R4.12.9	申請者:719件 交付金額:35,950,000円	生産意欲の向上及び社会情勢に応じた生産販売を図ることができた。	必要に応じて事業継続のための取り組みについて検討していく。
R4	3	牛肉消費拡大対策学校給食助成事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた和肉牛の需要喚起を図るため、学校給食へ牛肉を提供する。 ②牛肉の購入費を補助 ③曾於市内小・中学校児童・生徒	5,310	R4.6.24	R5.3.31	曾於市内の全小中学校に年5回、759.1kgの牛肉を学校給食に提供した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた和肉牛の需要喚起を図ることができた。	今回は、地方創生臨時交付金で補助することができたが、今後は、状況に応じた対応を検討する。
R4	4	新型コロナウイルス傷病見舞金	①新型コロナウイルス感染症の感染による生活上の不利益や通院等による経済的損失を見舞うことを目的とする。 ②見舞金として1人当たり30,000円を支給 ③新型コロナウイルス感染症に罹患した市民。ただし1世帯当たり上限60,000円まで。	112,260	R4.4.15	R5.3.31	給付件数 3,742件 給付総額 112,260,000円	新型コロナウイルス感染症傷病見舞金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の感染による生活上の不利益や通院等による経済的損失を見舞うことができた。	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたこと、見舞金給付に一定の成果がみられたことから今後は廃止する。
R4	5	経済対策配付型商品券事業(第4弾)	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気低迷及び原油価格・物価高騰を鑑み、市内の事業者支援及び市内における消費活動の喚起を図る。 ②10,000円商品券を配付。なお、飲食店での使用に限り20%割増での利用が可能 ③市民全員	342,016	R4.6.24	R4.10.28	引換券交換率97.6% 利用可能店舗数313店舗 引換券使用率98.7%	コロナ禍において市内の消費喚起および地域経済の活性化が図られた。	今後も市内の消費喚起及び地域経済の活性化を図るための事業を検討する。

計画年度	No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者, 対象施設等)	交付金 対象 決算額 (単位:千 円)	事業 始期	事業 終期	成果	評価	今後の対応
R4	6	地域消費喚起プレミアム 商品券発行事業	①コロナ禍において原油価格や物価の高騰を受けた市民への支援及び地域消費の喚起による事業者支援により、地域経済の活性化を図る。 ②1冊6,500円のプレミアム付商品券を5,000円で販売するプレミアム分の経費及び事務委託経費 ③商品券購入希望者(市民)	223,468	R4.7.28	R5.3.3	商品券発行部数 33,700冊×13枚=438,100枚 商品券使用率 99.7%	コロナ禍において市内の消費喚起および地域経済の活性化が図られた。	今後も市内の消費喚起及び地域経済の活性化を図るための事業を検討する。
R4	7	肥育牛経営緊急支援対策事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響と生産資材高騰で、経営悪化した肥育牛経営の体質強化を図るため、肥育素牛を導入保留することに対し給付金を給付する。 ②肥育牛の素畜導入に要する経費 ③肥育牛の導入保留対象者	32,658	R4.11.21	R5.1.27	対象農家 19戸 対象頭数 1,639頭 交付金額 32,658,000円	コロナ感染拡大の影響で牛肉の消費が落ち込み、経営悪化した肥育農家を支援した事により、経営の体質強化が図られた。	今後の枝肉価格相場を注視し、状況に応じた対応を検討する。
R4	8	肉用子牛生産推進緊急 支援対策事業	①新型コロナウイルス感染拡大の影響で肉用子牛の価格が下落しており、また、生産資材も高騰していることから繁殖農家の生産意欲の低下や規模縮小・廃業等が懸念されるため、生産牛経営者へ給付金を給付する。 ②肉用牛飼養に係る生産経費の一部助成 ③子牛セリ市に出荷した農家	44,260	R4.11.21	R5.1.20	対象農家 599戸 対象頭数 4,426頭 交付金額 44,260,000円	コロナ感染拡大で子牛価格低落が長引く中、交付した事により、経営体質強化と経営の継続が図られた。	今後の子牛価格相場を注視し、状況に応じた対応を検討する。
R4	9	酪農経営緊急支援対策 事業	①新型コロナウイルス感染拡大及び生産資材高騰の影響で、経営悪化した酪農経営の体質強化を図るため、生乳生産に対し給付金を給付する。 ②生乳出荷の下落分に対しての一部助成 ③鹿児島県酪農協同組合へ出荷した生乳生産者	1,690	R4.11.2	R5.2.3	対象農家 8戸 対象生乳量 1,304,769kg 交付金額 1,690,000円	コロナ感染拡大の影響で消費が落ち込んだ事に加え、光熱水費や生産資材の高騰により経営に深刻な影響を受けていた酪農家を支援したことにより、経営の体質強化が図られた。	今後の生乳価格相場を注視し、状況に応じた対応を検討する。
R4	10	曾於市中小企業事業継続 支援金(第4期)	①未だ長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、さらにエネルギー物価高騰による影響を受け、売上が一定程度減少した中小企業者に対し、事業継続のための支援金を交付することにより、事業者への影響緩和と地域経済の活性化を図る。 ②1事業者に対する100,000円分の交付金及び事業にかかる事務経費 ③要件に該当し、R4年4月からR4年12月までのうち、売上が令和元年度又は令和2年度若しくは、令和3年度同月比で10パーセント以上減少した月がある中小企業者	46,100	R5.3.20	R5.7.28	給付件数 461件 給付総額 46,100,000円	売上が減少した事業者に対し、支援金を交付することで事業継続と経営安定化の一助とすることができた。	今後も地域経済の活性化と商工業者の経営安定化を図るため、地域経済の状況を注視しながら事業を検討する。
R4	11	養豚経営緊急支援事業 給付金	①新型コロナウイルスの影響で飼料価格・生産資材の高騰・光熱水費等の上昇により経営に深刻な影響を受けている。養豚経営の体質強化を図るために出荷頭数に対し給付金を交付し支援する。 ②肉豚出荷1頭当たり1,000円以内とし、1給付対象者当たり50万円を限度とする。 対象養豚農家22戸=8,130,000円 ③市内に居住し、市内に施設を有する養豚農家	6,795	R5.3.29	R5.5.19	対象農家 19戸 対象頭数 6,795頭 交付金額 6,795,000円	光熱水費や生産資材の高騰により経営に深刻な影響を受けていた養豚農家を支援したことにより、経営の体質強化が図られた。	今後の 価格相場を注視し、状況に応じた対応を検討する。

計画年度	No	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者, 対象施設等)	交付金 対象 決算額 (単位: 千 円)	事業 始期	事業 終期	成果	評価	今後の対応
R4	12	養鶏経営緊急支援事業 給付金	①新型コロナウイルスの影響で飼料価格・生産資材の高騰・光熱水費等の 上昇により経営に深刻な影響を受けている。養鶏経営の体質強化を図るた めに出荷数量に対し給付金を交付し支援する。 ②1戸あたり上限額を50万円以内 プロイラー農家33戸=14,700,000円 レイヤー農家2戸=572,000円 ③市内に居住し, 市内に施設を有する鶏飼養農家	13,961	R5.3.15	R5.5.19	対象農家 31戸 対象鶏肉・鶏卵 3,490,250kg 交付金額 13,961,000円	光熱水費や生産資材の高 騰により経営に深刻な影響 を受けていた養鶏農家を支 援したことにより, 経営の体 質強化が図られた。	今後の鶏肉, 鶏卵価格相場 を注視し, 状況に応じた対 応を検討する。
R4	13	酪農経営支援対策事業 (延長・拡充)	①R4年7月から12月までの生乳出荷量に対して1kg当たり1.3円以内の給 付を行っている。現在の酪農経営は新型コロナウイルスの影響で消費が落 込んだ事に加え, 光熱水費や生産資材の高騰により経営に深刻な影響を 受けている。R5年1月から3月までの延長と給付単価を3円以内の給付で支 援する。 ②生乳出荷量1kg当たり3円以内とする。 ③市内に居住し, 市内に施設を有する乳用牛飼養農家	2,044	R5.3.29	R5.5.19	対象農家 8戸 対象生乳量 683,026kg 交付金額 2,044,000円	乳製品の消費が落込み光 熱水費や生産資材の高騰 により経営に深刻な影響 を受けていた酪農家を支 援したことにより, 経営の体質強 化が図られた。	今後の生乳価格相場を注 視し, 状況に応じた対応を 検討する。